

## 第4号事業

# 平成26年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-1
事業名	レガス子どもクラブ			担 当 課	子ども・地域課
				変更内容	事業統合
目 的	子どもたちが安心してスポーツ・レクリエーション活動及び学習活動に参加できる場と機会を提供する。また、各活動を通して参加者相互の交流を図る中で、子どもたちの自主性や創造力を育むとともに、次代を担う子どもたちの心身の健全な育成を図る。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	5,584	4,366	1,218	部	経常増減の部
自主財源	598	2,859	△ 2,261	大科目	事業費
区補助金	6,168	6,407	△ 239	種別	自主・補助
経常収益計	12,350	13,632	△ 1,282	(単位:千円)	
事業費	6,472	7,760	△ 1,288		
人件費	5,878	5,872	6		
経常費用計	12,350	13,632	△ 1,282		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

「レガスクラブ」と「のびのびクラブ」を事業統合

#### (1) 総合体験プログラム(自主事業)

① 実施内容 区内の資源(人・まち・団体・学校・施設・自然等)を活用し、様々な学習・体験プログラムを実施する。

年間を通じた活動を通じ、人間関係を作りリーダーシップを身につけていく。

② 実施期間 平成26年5月から平成27年3月までの11ヶ月間、原則日曜日に年間20回実施。

③ 対 象 小学校1年生から6年生までの児童・生徒60人。小学1～3年生と4年生以上を分けて募集。ただし、定員を超えない場合は中学生の参加も可とする。

#### (2) スポーツ・学習定期プログラム(自主事業)

① 実施内容 スポーツプログラムレガスフットサルクラブ(24人×3コース・15人×1コース)、レガスチアリーディングクラブ(30人×1コース)、レガス水泳クラブ(30人×1コース) 学習プログラムレガス料理クラブ(20人×1コース) レガス図工クラブ(30人×1コース)、レガス英語クラブ(20人×2コース×4会場)を実施。

② 実施期間 平成26年5月から27年3月、原則平日夕方に各コース年間15回～30回程度の実施。

③ 対 象 小学校1年生から小学校6年生までの児童、定員は活動内容による。

④ 会 場 新宿コズミックセンター(スポーツ)、四谷(料理・図工)、生涯学習館等新会場(英語)で実施。

#### (3) スポーツ・健康プログラム(補助事業)

運動が苦手、または体のバランスが偏っている児童を対象に、基礎体力の向上、運動嫌いの克服を目指した様々なプログラムを実施する。年間33回(90分/回)。

### 2 成果指標

(1) 延べ参加者数/7,912人(平成24年度実績:6,672人)

(2) 児童・保護者アンケート結果/評価3.5以上

### 3 実施上の課題

(1) 大学や民間企業等と連携し、子どもたちの多様な学習機会を創出するための仕組みづくりを行う。

(2) プログラムの内容やレベル等を検討し、子どもたちへの効果的な指導方法、仕組みづくりを行う。

(3) 様々なレベルの参加者が混在するクラスへの対応と集団行動、活動における仕組みづくりを行う。

(4) 生涯学習館の休館日や放課後子どもひろば実施校等へも会場を広げ、区内全域から多くの参加者を得るために会場および実施日時を検討する。

### 4 顧客満足度の向上方策

児童のニーズを把握し、各プログラムの活動内容や翌年度の種目設定に活かす。

### 5 実績

	事業名	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数
平成23年度	総合体験	55人	65人	55人	560人
	スポーツ・学習	245人	221人	194人	3,806人
	健康・スポーツ	50人	49人	46人	593人
平成24年度	総合体験	50人	117人	55人	712人
	スポーツ・学習	325人	400人	268人	5,448人
	健康・スポーツ	50人	44人	35人	512人

### 6 対前年度予算増減説明

(1) バスケットボールクラブ廃止による減

(2) 参加料単価引き上げによる事業収益の増

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、小学校学習指導要領、食育基本法	事業開始	平成22年度
------	-------------------------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-2
事業名	子ども未来講座			担 当 課	子ども・地域課
				変 更 内 容	-
目 的	学校ではなかなか体験できない実験や工作の事業を実施し、子どもの科学や技術に対する興味・関心を育む。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	736	1,737	△ 1,001	部	経常増減の部
自主財源	555	2,153	△ 1,598	大科目	事業費
区補助金	2,748	2,735	13	種別	自主事業
経常収益計	4,039	6,625	△ 2,586	(単位:千円)	
事業費	1,291	3,890	△ 2,599		
人件費	2,748	2,735	13		
経常費用計	4,039	6,625	△ 2,586		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) 夏休み科学体験教室

学校の夏季休業期間を利用し、大学等の専門機関を会場とした科学教室を実施する。

- ① 実 施 日 7月～8月 計4回
- ② 対 象・定員 小学1年～6年 各30人
- ③ 連 携・協 力 工学院大学などの区内大学等

#### (2) 宇宙の学校

宇宙のしくみ・理科実験・工作等を学ぶ機会を提供する。特に、独自のプログラムを開発する。

- ① 実 施 日 7月～12月(全4回×2コース)
- ② 対 象・定員 小学1年～6年 40人×2コース
- ③ 連 携・協 力 子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)、シリウスの会等

#### (3) その他科学教室

理科の面白さを伝える教室を実施する。科学以外にも物理・数学等、広分野の事業・連携先を確保する。

- ① 実 施 日 6月～平成27年計6回
- ② 対 象・定員 小学1年～6年 各30人
- ③ 連 携・協 力 民間企業及び大学等

### 2 成果指標

参加者数/504人(平成24年度実績:457人)

### 3 実施上の課題

- (1) 専門機関である大学内を会場とすること等により、普段体験できない科学教室を実施する。
- (2) 財団と連携先による独自のプログラムを開発、実施する。
- (3) 科学のみならず、物理・数学等の理系全般に分野を広げるため、企業や大学等の新規連携先を確保する。

### 4 顧客満足度の向上方策

事業参加者アンケートにより、事業参加に対する満足度の測定とニーズを調査する。

### 5 実績

平成24年度

- (1) 夏休み科学教室、7月30日・31日、工学院大学連携、定員30人×2回、申込者計193人、参加者計58人
- (2) 宇宙の学校、7月・8月・10月・12月の4回、KU-MA・シリウスの会連携、定員40人×2コース×4回、申込者計160人、延べ参加者241人
- (3) その他科学教室1、12月8日、早稲田大学連携、定員25人×2回、申込者計64人、参加者計49人
- (4) その他科学教室2、1月12日、ディレクトフォース連携、定員30人×2回、申込者計54人、参加者計43人
- (5) ペットボトルロケット大会、2月10日、シリウスの会・区内ロータリークラブ・西戸山中学校連携  
定員45人×2回、申込者計84人、参加者計66人

### 6 対前年度予算増減説明

宇宙の学校委託費(材料費分)の見直しによる減

根拠法令	社会教育法、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領	事業開始	平成22年度
------	---------------------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-3
事業名	放課後子どもひろば			担 当 課	子ども・地域課
				変更内容	事業拡充
目 的	地域と協働して、放課後および学校休業日に、小学校内において安全で充実した子どもの遊びや学びの場を提供することで、地域の子どもの健全な成長を支援する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,425	1,058	367	部	経常増減の部
区受託料	290,731	277,003	13,728	大科目	事業費
経常収益計	292,156	278,061	14,095	種別	受託事業
事業費	35,584	29,158	6,426	(単位:千円)	
人件費	256,572	248,903	7,669		
経常費用計	292,156	278,061	14,095		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)実施場所／区内小学校(21校)の活動室、校庭、体育館等
- (2)実施内容／子どもたちが伸び伸びと遊び、学ぶ環境の提供  
団体や個人と連携した、遊び指導員の導入及び各種プログラムの実施
- (3)実施手法／各校に管理責任者(契約職員)1人と遊び・学び支援者(パート職員)4人を配置  
巡回指導(1校につき年間8回)による指導、助言
- (4)その他／平成25年7月より開始している学童機能付き放課後子どもひろば(落合第四小)の継続実施

### 2 成果指標

- 自校登録率／70%(平成24年度実績:65.5%)
- 年間延べ参加者数／144,482人(平成24年度実績:140,273人)  
(平成24年度実績の3%増。ただし、平成25年度よりひろば事業を実施しない落合第一小の実績(9,163人)は算出対象から除く)

### 3 実施上の課題

- (1)平成19年度事業開始時から7年が経過し、子どもひろばに対する需要や事業のあり方が変化してきている。また、平成24年度の自校登録率は65.5%にとどまっているため、児童及び保護者のニーズに応えられるよう、事業内容の充実を図る。
- (2)ひろばだより、財団広報紙、ホームページ等を活用し、周知活動を強化する。
- (3)民間企業や地域団体、個人等と連携し、ひろば独自のプログラムを導入していくことで、より魅力的な活動内容を提供する。
- (4)スタッフに対する研修を充実し、ひろば運営の質的向上を図る。
- (5)今後の子どもひろば運営や学童クラブとの一体運営に関する研究を進める。

### 4 顧客満足度の向上方策

- (1)全21校のひろばで平成25年度に引き続き利用者アンケートを実施し、顧客満足度の推移や児童・保護者の需要を把握する。
- (2)アンケートの結果から、即時取り組める事項については、随時ひろば運営に活かしていく。

### 5 実績

平成24年度

各校登録者数(平成24年度末現在)及び在校児童数に占める割合

津久戸小	212人、75%	四谷小	297人、71%	落合第三小	207人、47%
江戸川小	116人、95%	花園小	109人、62%	落合第四小	307人、82%
市谷小	333人、62%	天神小	74人、91%	落合第五小	68人、64%
愛日小	192人、78%	戸塚第一小	251人、67%	落合第六小	137人、86%
早稲田小	268人、51%	戸塚第二小	132人、75%	淀橋第四小	164人、61%
鶴巻小	134人、89%	落合第一小	294人、70%	柏木小	239人、70%
牛込仲之小	159人、70%	落合第二小	214人、62%	西戸山小	254人、52%
余丁町小	232人、57%				

### 6 対前年度予算増減説明

学童機能付き放課後子どもひろば(落合第四小)の通年実施による責任者及び支援者人件費の増

根拠法令	放課後子どもひろば事業実施要項	事業開始	平成19年度
------	-----------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-4
事業名	対話式美術鑑賞教室			主 管 課	子ども・地域課
				変更内容	-
目 的	1.区内の小・中学校の児童、生徒に、対話による美術鑑賞を通して美術文化に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな心の醸成と心身の健全な育成を図る。 2.公益財団法人損保ジャパン美術財団と連携し、学校の教育活動を支援する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	6,656	6,561	95	大科目	事業費
経常収益計	6,656	6,561	95	種別	受託事業
事業費	4,311	4,209	102	(単位:千円)	
人件費	2,345	2,352	△ 7		
経常費用計	6,656	6,561	95		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) 対話による美術鑑賞教室

公益財団法人損保ジャパン美術財団及び区立小・中学校と連携し、原則小学校4年生、中学校1年生を対象に、損保ジャパン東郷青児美術館にて対話による美術鑑賞を実施する。児童・生徒が美術作品を見て感じ、考えたことを同じグループの他者に話し、相手の考えを聴き、話し合いながら作品の鑑賞力を深められるよう支援していく。(1校につき約90分)

#### (2) 事前授業

損保ジャパン東郷青児美術館での対話による美術鑑賞に備え、区立小・中学校の図工または美術の時間を活用し、アートカード等を使用した事前学習授業を実施する。損保ジャパン美術財団からボランティアガイドスタッフを派遣し、ワークショップ形式にて対話により様々な感じ方、考え方がることを学ぶための支援を行う。

### 2 成果指標

参加学校数／小学校全29校、中学校全9校(平成24年度実績:小学校29校、中学校6校)

### 3 実施上の課題

- (1) 新宿区教育委員会、小・中学校、損保ジャパン美術財団と連携し、事前授業プログラム内容の充実を図る。
- (2) 対話による美術鑑賞教室及び事前授業の未実施校に対する周知を強化し、導入を促進する。

### 4 顧客満足度の向上方策

新宿区教育委員会との協議のうえ、参加校に対するアンケート調査(担当教諭対象)を実施し、授業のねらいに沿った事業であったかを検証する。アンケート結果から課題があった場合は、教育委員会、損保ジャパン美術財団及び小・中学校担当教諭の3者で協議し、事業内容の改善を図る。

### 5 実績

平成24年度

- (1) 対話による美術鑑賞教室に小学校29校、中学校6校の計35校が参加。
- (2) 小学校の事前授業で斬新なプログラムを実施した学校があり、その内容を録画し、希望校の担当教諭に配付できる準備を行った。

### 6 対前年度予算増減説明

- (1) バスの単価増による使用料及び賃借料の増
- (2) 配付教材等の見直しによる委託費の減

根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法	事業開始	平成22年度
------	-----------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-5
事業名	レガスサイエンスフェスタ			担 当 課	子ども・地域課
				変更内容	-
目 的	普段の学校では体験できない実験や工作を1日で複数体験できるイベント形式で実施することにより、子どもの科学や技術に対する興味・関心をより一層刺激する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	953	0	953	部	経常増減の部
自主財源	1,506	9,936	△ 8,430	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	2,459	9,936	△ 7,477	(単位:千円)	
事業費	2,459	9,936	△ 7,477		
人件費	0	0	0		
経常費用計	2,459	9,936	△ 7,477		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

4-2レガス子ども未来講座の連携団体をはじめとする、都内の民間企業及び大学等と連携・協働し、子どもたちに科学の楽しさを体験してもらう機会を創る。

- (1) 実施日 平成27年3月7日(第一土曜日)
- (2) 実施場所 新宿コズミックセンター
- (3) 実施方法 レガス子ども未来講座連携団体を中心に大学や民間企業等と連携し、複数のブースを1日で体験できる形式のイベントを実施する。
- (4) 参加費 3,100円(材料費込)
- (5) 対象 5歳～小学生
- (6) 定員 300人(先着順)
- (7) 周知方法
  - ① Oh!レガス新宿ニュースおよび財団ホームページ
  - ② 区内公立小中学校配布の総合チラシ冬号
  - ③ 新宿シティハーフマラソン参加者配布チラシ

なお、出展内容については、サイエンス(科学)だけにとらわれず、物理・数学・化学・工作など、理科に関わる分野を広く実施することを目標とする。

### 2 成果指標

参加者数/300人(平成24年度実績:279人(子ども未来講座・サイエンスフェスタとして実施))

### 3 実施上の課題

- (1) 科学のみならず、物理・数学等の理系全般に分野を広げるため、企業や大学等の新規連携先を確保する。
- (2) 財団と連携先による独自のプログラムを開発、実施する。

### 4 顧客満足度の向上方策

事業参加者アンケートにより、事業参加に対する満足度の測定とニーズプログラムを調査する。

### 5 実績

平成24年度

レガスサイエンスフェスタ/3月2日(土) 定員:300人 申込者数:366人 参加者数:279人

### 6 対前年度予算増減説明

- (1) 子ども未来講座から特別イベント分を組み替えたことによる事業収益の増
- (2) 子どもフェスタ2014実施完了に伴う減

根拠法令	社会教育法	事業開始	平成22年度
------	-------	------	--------